



なきごえ



1989

6

大 阪 市
天王寺動物園協会

又野末春



出水に越冬中のツル達も、春の訪れとともにいよいよシベリアへの北帰行がはじまった。今シーズン。9500羽余りの、マナヅル、ナベヅル、珍鳥カナダヅル、クロヅルなど戦前戦

後を通じ最高の羽数であった。

ツルとの出会があったのは戦後の昭和29年の冬からであった。当時村の世話役だった頃、出水市からの餌まき管理の依頼があったことからはじまった。故岡田孫市さんと共に快く引受けることになり今日に至った。

その頃はツルの数は少なく、又、戦後の食糧難時代で餌は殆んど生甘藷であった。これを小刻みにしてやった。46年ようやくナベヅルの餌付けに成功し、ツルの数も2000羽余りに増えた。

それまではナベヅルの群は殆んど餌場の餌に付かず方々に出向き市郡一帯の麦畑を荒した。農家からの苦情が増し、巡回には監視員の腕章もはずして廻るほど被害と苦情が出た。

このようなツル達も今では50ヘクタールの餌場で好みの小麦900kg、イワシ400kgなど北帰行に備えて盛んに体力づくりにはげんでいるようである。

やはりツル達にとってこの地は安心して餌が採れ、天敵のいない…人間が天敵であるが…古くからツルとのかかわりが深く迫害されないことを知っている。又、大事なのはねぐらである。一旦ねぐらにつくと9000羽余りの大群も声一つ出さない。

安心して眠れるこれらの生息環境がツル達にとって最高の越冬地である。次のシーズンは1万羽飛来…

3月末までには殆んどのツル達は北帰行が終る。去るのはやはり淋しい思いであるが、又、この冬に

は逢える喜びがある。次にツルの夫婦家族愛の出水での実話を記したい。

それは昭和48年12月餌場の近くで一羽のナベヅルが、けたたましい鳴声で低空で旋回しているのに気づき、現場に急行した。そこにはその相ヅルであろう、飛ぶことが出来ず羽ばたきしているツルを発見した。そのツルは羽根を痛めていたのであった。早速治療し保護することにした。一羽のナベヅルは心配なのでしょう。上空を旋回しながらついて来た。この夫婦ヅルは、その冬一しょに過ごすことが出来なかった。3月に入りいよいよツル達もシベリアに帰る時期が来た。だが、一羽だけ残っているナベヅルがいた。なんと保護したナベヅルの相ヅルであった。4月になっても帰ろうとしない。私の家の近くまで来て保護したツルと鳴合っているのだった。保護したツルは未だ飛ぶことが出来ず放すことが出来ない。5月に入って暖かくなった。やはり彼等の本能であろう。とうとう一羽だけで後髪引かれる思いでシベリアに帰って行った。

だがシベリアに帰って出水に残した相ヅルのことを思いこがれていたのだろうか…

その年の冬第一陣の仲間といち早くやって来た。夜の11時20分頃保護舎の上空を旋回しながら上下で鳴き合っていたのだった。それは5月まで残っていたメスヅルだった。秘められたこの強い夫婦愛、保護管理30年余りでこんなに感動したことはなかった。保護舎のオスヅルもようやく元気に飛べるようになっていたので、早速標識を付け彼と一しょに帰れることを祈って放した。寄りそうようにその冬元気で過して無事に他の群とシベリアに帰って行った。

次のシーズン、その夫婦ヅルは、二羽の子ヅルを共にここ出水にやって来た。標識があるのですぐに確認することが出来た。このツルは55年までは元気で来ていたのだが、その後標識ヅルの姿は見られなかった。淋しい思いだったが、その子ヅル、孫ヅル達が飛来してくれるものと信じたい。

(特別天然記念ツル保護監視員)

なきごえ6月号もくじ

動物と私 2
フクロギツネの親子 3
動物園グラフ・動物園日記 4・5
動物園の思い出 6・7
稀少動物の血統登録とは 8・9
動物園なんでも相談室 10
動物園ニュース 11

表紙の写真説明

ナベヅル Grus monacha
バイカル湖以東のタイガで繁殖し、中国揚子江下流域や日本で越冬します。世界中のほとんどのナベヅルが日本の鹿児島県や山口県で越冬します。

(撮影：榊原 安昭)



“フクロギツネの親子”

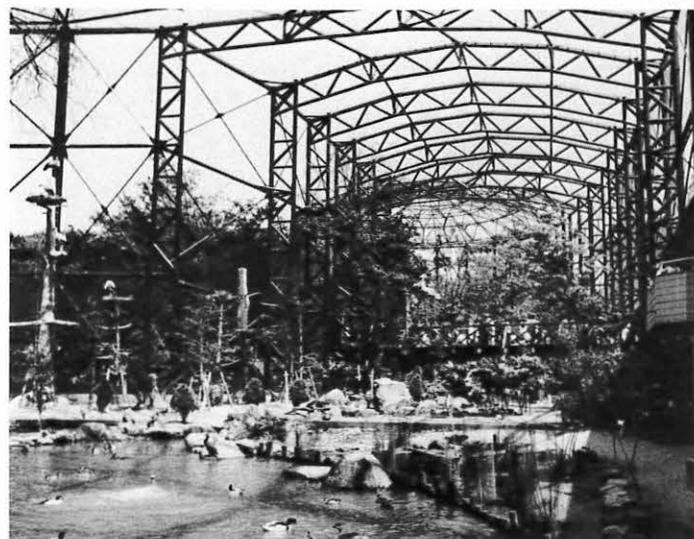
フクロギツネはオーストラリアの有袋類です。キツネのような顔をしているので、この名がつけられました。夜行性動物舎での繁殖は順調です。

(撮影：大川 光雄)

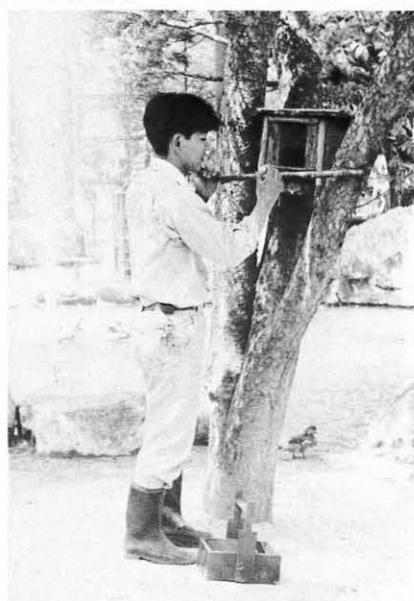
動物園グラフ

“鳥の楽園、繁殖大作戦”

いよいよシーズン到来！裏方さんはおおいそがし。(撮影：大野 尊信)



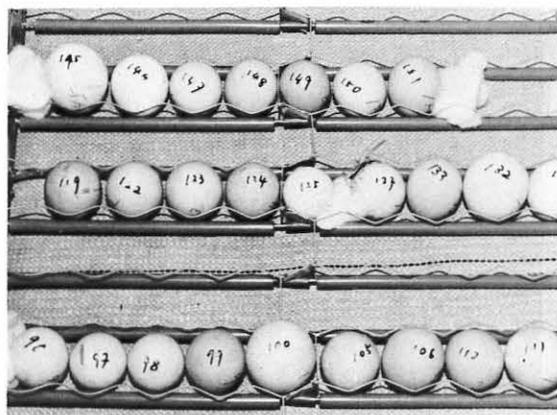
鳥の楽園は只今60種300羽。



親鳥が上手に抱いているかな。



ふ卵器に入れる前に1コずつ測定します。



親が抱かない卵はふ卵器でふ化させます。

3・4月の動物園日記

- 3 / 28. ヨーロッパフラミンゴが12羽来園しました。
- 3 / 29. ヒョウモンガメ5頭を、個体識別のため、甲らの縁に穴を開けました。
- 3 / 31. 土井良彦園長が退職されました。
- 4 / 1. 園長に当園飼育課長の伊東重朗氏が就任しました。
ホッキョクグマが交尾しました。
アオサギが2羽ふ化しました。
- 4 / 2. 前月新しく来園したイワトビペンギンの体重を測定しました。

- 4 / 3. ベニジュケイが産卵しましたがすぐ破卵してしまいました。
- 4 / 4. カニクイザルとブタオザルが各1頭生まれました。
- 4 / 5. 20日齢のハワイガンは順調に成長中で、体重も740gになりました。
ヒョウが交尾しました。
- 4 / 6. 昨年生まれのカリフォルニアアシカの子4頭の体重測定を行いました。
モモイロペリカンが元気食欲不振のため、治療を開始しました。
- 4 / 10. マレーグマが交尾しました。
カニクイザルの赤ちゃんが床に落ち、水に



検卵と放冷は日課です。
大事に取りあつかいをします。



赤外線電球の下によりそう
カモのひなたち。



今年の人工ふ化第1号はアカハシハジロと
アカアシコガモ。



自然フ化のカナダガンもみられます。

- ぬれ、体温が低下してしまったため、取り上げ保温したところ、元気も回復したため、親に戻しました。
- 4 / 11. ニホンジカの角が左右とも落ちました。
ニホンザルの本年最初の赤ちゃんが生まれました。
- 4 / 13. ニュートリアの子供が4頭生まれました。
- 4 / 15. バーバリシープのメスが1頭生まれました。
カルガモ1羽とキジの卵3個を保護しました。卵は検卵後、ふ卵機に入れました。
- 4 / 16. 保護後、元気回復したヒヨドリを自然復帰させました。
第48回動物のお話とスライドの会「はてな？

- 動物クイズ」を開催しました。
- 4 / 18. チンパンジーの検便を行いました。
- 4 / 20. オーストラリア・ビクトリア動物学評議会グレイム・G・ジョージ氏および同国大使館のジェームズ・デルメニコ氏がコアラ舎やユーカリの植栽状況の調査のため来園されました。
- 4 / 22. ニホンザルが1頭生まれました。
- 4 / 23. 春の動物園まつりが開幕しました。
- 4 / 24. ハクビシンが5頭生まれました。
ダマシカのオスの左の角が落ちました。
- 4 / 25. ダマシカのオスの右の角が落ちました。
- 4 / 27. カナダガンが7羽自然ふ化しました。
キーウィ4羽の体重測定を行いました。

動物園の思い出

なきごえ25(6),1989

ヤブツカツクリとワライカワセミ、この鳥たちは大阪市とオーストラリアのメルボルン市が姉妹都市提携を締結したことを記念して、昭和54年7月にメルボルン動物園から動物交換として天王寺動物園にやってきた。その年の6月縁あって天王寺動物園にお世話になったので、私が最初に出会った動物である。いずれも個性豊かな鳥たちで、ヤブツカツクリは飼育下では雄鳥がいつも土を掻いて懸命に塚を造り、春になるとその塚に雌鳥が産卵するのであるが、卵はトリの体型からみると非常に大きいもので、シーズン中10~20個産卵する。卵は塚の中の発酵熱でふ化する変わった出生経過をとる。塚を造ってはこわし、こわしては塚を造っている雄鳥を見てると何かにたとえたくくなるような不思議な習性の鳥である。ワライカワセ



順調に繁殖しているワライカワセミ

ミは、ご承知のとおり大型のカワセミであるが、大きくて堅固な嘴を持ち貪欲である。この鳥の特長は非常に大きな声で鳴き、その鳴き声は巻間よく耳にする豪傑笑いの如く、あたかも一時流行した笑い袋そっくりである。朝夕に鳴くことが多く、その奇声には誰もが足を止め振り返るほど強烈な印象を与える。さらに愉快なのは余りにも大きな鳴き声のために、鳴いたあと周りが一瞬静かになり、そのときに見られるカワセミの姿は一層優雅でおもしろい。両種ともに現在元気に育っているが、当時日本には天王寺にしかいなかったのだから、飼育については細心の注意を払った。ヤブツカツクリはやがて有精卵が見られるようになったが、大阪の気候では塚内の自然ふ化には無理があるようなので、孵卵器による人工ふ化を試み、昭和60年に成功した。もちろん、この内容については動物園技術者研究会で報告されているが、日本経済新聞社の取材をうけることとなり、同紙の文化欄に詳しく紹介されている。またワライカワセミについても相性の問題など苦勞を重ねたが、自然繁殖に成功、さらに人工孵化にも成功し、1シーズン2クラッチの孵化にも成功した。これらの成功は2代にわたる担当者の苦勞の結果で、いずれも日本動物園水族館協会の繁殖賞を受賞する光栄を得た。特に印象の深かった動物だけに、この鳥たちの孵化育すうの成功は殊のほか感激が大きい。

以来動物たちの出産や繁殖の喜びに数多く体験をした。最近では、ホッキョクグマの繁殖成育例がある。大阪のように比較的暖かい都心の動物園では、

繁殖は困難とされていたが、担当者を中心としたプロジェクトチームの努力の結果成功を見たのである。純白の子グマが親子でふれあう姿は本当に可愛いく、お陰で全国から動物好きのかたがたが多数お見えになり知己を得た。また天王寺動物園では、開園以来始めて70年ぶりにオランウータンの子育てに成功した。類人猿のように接触を心がけながら育てる動物の繁殖例は、担当者



サブちゃん和筆者

と動物のコミュニケーションがよりこまやかに伝わってくるので、なお一層感激の実感が大きい。動物たちのディスプレイや繁殖、子育ての儀式には、その動物の本音がかもし出される。その動物たちの生きざまを鋭く詳細に観察し、記録にとどめる。もちろん日常の動静もそうであるが、その記録の集積が飼育の基本となるのである。このことは比較的簡単なようであるが、実は根気と忍耐、旺盛な好奇心が必要とされるきびしい作業でもある。

カルフォルニアアシカは近年よく繁殖している。しかしながら離乳期になると体重が減少するので、一時隔離プールにとりあげ、自力採食を覚えさせねばならない。時によると強制給餌の期間が長くなることがあるので、かなりの重労働である。以前は時に死亡することがあったが、最近では順調に育っている。ところが自力採食を覚えるまでの経過が個体によってまちまちで、前例どおりにスムーズに行くことは少ないという。動物を育てるといことは本当にむずかしいことである。キジの仲間は交尾期になると雄鳥は実に美しくなる。とくに求愛行動などのディスプレイのときは、全身を振わせ想像も出来ないほど美しく変身する。この行動はほんの一瞬でその機会に出会った人は幸せだと思う。動物園に来てしばらくした頃、上司から「動物園生活はどうですか」と聞かれたことがある。「10年に一度しか見られないこともあるので大へんです」と答えたら、「10年一日では進歩がないので困る」とたしなめられたことがあった。あわてて誤解を説明したが、事実カンガルーの出産シーンはまだ見ていない。親指ほどの子供が腹部にある育児のうまでどのようにたどりつくのかぜひ見たいものである。

天王寺動物園70年史にキウイの合唱として、野生下で育ったキウイが担当者を次第に認めるようになり、やがて合唱する経過が記されている。その担当

なきごえ25(6),1989

者に早く記録をまとめてみてはと誘いかけると、100回合唱が続くまで書けませんと言われてできたレポートを英訳して、ニュージーランド政府に報告した。これが当地の新聞や雑誌に



鳴くキウイ

紹介され、天王寺動物園の飼育技術の評価を高めることになり、若いキウイを連続していただくことになった。このキウイを動物園開園70周年のときに完成した夜行性動物舎で一般公開した。千里丘陵の万国博のときにいただいて以来、15年間幻しの鳥といわれて来たキウイを薄暮の雰囲気につくりだした夜行性動物舎でお見せすることができたときには、長い間の懸案の課題であっただけに、本当に重荷を下したという感じであった。生きた化石と云われたキウイをご覧になったかたで感銘をうけられたかたも多いと思ううれしかった。お陰でニュージーランドの高官が来阪され、本市を表敬されるときには、いつも私も呼ばれその栄に浴した。

さて、天王寺動物園は大正4年1月に開園して今日までに74年になる。この74年間の動物園有料入園者は、平成元年3月末現在で約8860万人に達し、(但し、婦人と子供博(昭和27年)、天王寺博(昭和62年)を除く)昭和47年から中学生以下の入園料が無料となったので、この期間中無料入園者の推定数(有料入園者の1.7倍)2,550万人と合わせると1億1,110万人となり、実に多数のかたがたにご利用いただき、そのご愛顧に心から感謝を申しあげる。動物園はレクリエーション、教育、研究、自然保護などの役割を荷なっているが、これらの機能がほどよく均衡を保ちながら発展し社会に貢献してきたと思う。しかしながら、近年世界的な規模で自然破壊が進み、これ以上地球環境を悪化させないよう諸策が論じられるなかで、動物園は野生動物の保護増殖のために、飼育技



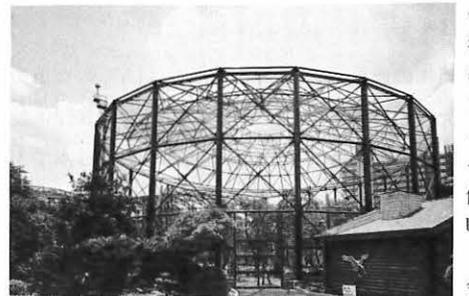
保護繁殖を進めているシシオザル

術の研究や血統登録、繁殖のため動物の貸与など種々の努力を行なってきたが、とくに絶滅の恐れのある希少動物の保護増殖について、その種の保存を図ろうとする責務が動物園の新しい在り方としてとりあげられるようになってきた。このことは動物園単独では解決できない問題であるので、全国の動物園水族館のネットワーク、つまり日本動物園水族館協会が保護増殖のプログラムを持ち、組織的計画的に調整機能を発揮しながら進めなければならない。日本動物園水族館協会は過去3年にわたって協議会



テーマとしてこの問題を取りあげ議論をしてきた。昨年5月、横浜の総会で日本動物園水族館協会総裁になられた礼宮殿下の総裁ご就任を機会に同協会の倫理要綱を制定し、絶滅の恐れのある希少動物の保護増殖のための種保存計画を本格的に進めることになった。現在32種の増殖プログラムを計画中であるが、天王寺動物園はシシオザルを担当している。まだ緒についたばかりで、具体的な問題が山積しているがぜひ成功させたいものである。

最後に施設整備について少しふれたい。昭和56年に完成したニホンコウノトリ舎は、担当者、獣医師、管理職など関係者からなるプロジェクトチームで大きさ、安全性、動物の習性・繁殖、管理作業など種々の角度から検討されて出来たプロジェクトによる動物舎建設の第1号であった。以来猛きん舎、キジ



好評を受けている「鳥の楽園」

舎、夜行性動物舎、レクチャールーム、便所、ビビ舎、サル舎、バードケージ、中型・小型ネコ舎、コアラ舎などがこの手法で完成し、立派な施設となった。なかでも、バードケージ、コアラ舎などは世界にも誇れる施設である。関係者を始め多くのかたがたのご理解とご尽力に心から感謝を申しあげたい。なお平成元年は中央門、レッサーパンダ舎、事務室などの改築が予定されているが、新生天王寺公園とともに実りある天王寺動物園の発展を心から期待したい。(前園長：土井 良彦)

稀少動物の血統登録とは—危機に瀕するシシオザルの現状について—

以前は耳なれない言葉でしたが、最近では新聞や雑誌等でもよく目にする稀少動物とは何なのでしょう。これは野生での生息数が減少し、その生存が危ぶまれている動物のことを意味しているのですが、ゴリラやジャイアントパンダ、クロサイなどその数はかなりの種類数にのぼります。この地球上で現在絶滅の危機に瀕している野生動物は哺乳類で385種、鳥類428種、爬虫類143種がリストアップされています。これらを保護し増やしていくことは今や動物園、水族館にとっては大きな課題となってきました。そのためにはこれら稀少動物の飼育実態を調査し、飼育頭数、性比、年齢、血縁関係などを正確に把握することが急務で、その結果をもとによりよい繁殖ペアの組み合わせをはかることもできるわけです。

このように各個体の履歴を調査していく血統登録事業は、1980年代に入ってから各稀少動物において盛んに行なわれるようになってきました。今回ご紹介するシシオザルに関しても、1982年からその調査が始まりました。米国のシアトル市にあるウッドランドパーク動物園のグレッドヒル氏がこのシシオザルの国際血統登録担当者として着任し、5年がかりの調査を行ってやっと世界各地の動物園で飼育されているシシオザルの現況がつかめてきました。今後はこの資料を毎年更新していくために年次調査を行い、その資料をもとに適正な飼育管理の勧告や繁殖計画の推進が期待されるわけです。

稀少動物の血統登録事業というのは国際的な協力が不可欠なのはもちろんですが、国内での登録体制も整えておかねばならないのは当然です。日本でもその必要性から日本動物園水族館協会が中心となって1986年からこの血統登録が開始されました。当初はシベリアトラやゴリラなど約20種の動物が対象でしたが、現在はそれらが32種類に拡大され、それぞれに担当者が任命されています。かくいう私もシシオザルの国内血統登録担当者をおおせつかつておりますので、シシオザルの現況についてご紹介することにしましょう。

§ 野生下でのシシオザル

シシオザルはインド西部の森林に生息するオナ

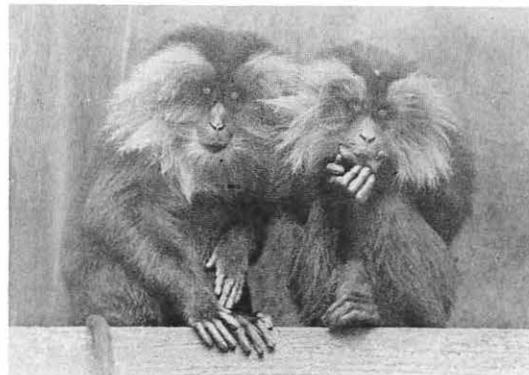
ガザル科のサルで、尾の先に房状の毛がありライオンの尾に似ていることからこの名があります。全身は黒色ですが顔のまわりに灰色の長い毛がライオンのたてがみのように伸びています。10~20頭位の群を作って生活していますが、現地では森林の伐採や開発、さらには食用にもされたため、野生での数は激減しています。

1968年には野生での生息数は1000頭以下と推定され、1970年には約800頭、1975年に至っては405頭と報告され、その存続はまさに風前の灯ともいえる状態です。1976年には国際保護動物にも指定され、捕獲、輸出は全面的に禁止、さらにインド政府の厳重な保護管理下にあるものの、依然絶滅の危機を脱するには至っていません。野生動物はその生息数がある頭数以下になった場合、その回復はなかなか困難だといわれていますが、シシオザルについてもまさにその状況にあるといえます。

§ シシオザルの飼育状況

1987年1月現在では431頭のシシオザルが81ヵ所の世界各地の動物園で飼育されています。20年前の調査では199頭でしたから格段に増加しているわけで、野生下での減少とまさに反比例している状態といえます。特に最近の繁殖成績は良好で、因みに3年前の調査では328頭でしたから、この間、毎年30頭以上も増えたこととなります。これは飼育下での繁殖が軌道にのってきたことを示すもので、まことに喜ばしい限りなのですが、この功績の大半は北アメリカの動物園に負っているのが実状です。

一方、日本での現状はというとまことに悲観的と



シシオザルのペア

言わざるを得ません。1988年12月末現在で日本では9ヵ所の動物園で18頭のシシオザルが飼育されているのですが、18頭の内、もう繁殖は望めないだろうと思われる20才以上の高令サルが6頭も占め、さらに繁殖適令(5~20才)の個体もオスが7頭いるのに比べメスはたった2頭しかいないという不均衡さです。つまり日本には目下、たったの2組しか繁殖ペアがないのです。残りの3頭はまだ3才未満の幼猿で、後、数年経たないと繁殖は無理かと思われま

§ シシオザルの歴史

世界でシシオザルを初めて飼育したのは米国フィラデルフィア動物園で、1899年のことでした。日本では京都市動物園が1923年に飼育を開始したことが記録されています。以後、熊本、上野、天王寺で次々に飼育され、1940年には6ヵ所で8頭が飼育されています。戦後の動物園の復興、新設に伴い1952年からシシオザルの外国からの入手が始まりだし、1960年には13園で25頭、1965年には16園、34頭と増加し、1968年には17園、37頭と飼育動物園数、頭数とも最高を示しました。これは決して繁殖成績がよくて増えたということではなくて、外国からの入手に頼った結果といえます。その後は減少傾向が強まり、1986年には9園17頭と過去25年間の最低となりました。

シシオザルは寿命の短いサルではなく、日本で過去に飼育した94頭中、14頭が20年以上の飼育実績をもっています。因みに国内での最長寿は上野動物園で飼育されたメスのチカという個体で、31年2ヵ月も飼育され、推定年齢34才で死亡しています。世界的には米国ボルチモア動物園のクィーニーというメスが1951年12月以来飼育されており、37年をこえる記録を更新中です。

§ 繁殖状況

妊娠日数については確実な記録がないのですが、他のオナガザルの仲間と同じように160~180日位と考えられています。出産期についても現地インドでも不定といわれており、日本での過去34例の出産時期をみる限りでも特定できませんでした。

繁殖適令期は5~20才位と考えられていますが、



1988年3月に生まれたシシオザルの赤ちゃん ば計28頭の赤ちゃんが誕生しています。シシオザルの飼育が始まって66年間、その間で28頭ですから繁殖成績は極めて低いと言わざるを得ません。1969年には年間3頭の誕生をみたことがありますが、前述したように繁殖ペアが2組しかない現状では1年に1頭誕生するのが精一杯というところ

§ 今後の展望

日本のシシオザルの現状はくり返すようですが、先行き不安だらけです。高令なサルが多いこと、オス、メスのアンバランスに加え、繁殖をしている動物園がひらかたパークと当天王寺動物園に現在片寄っている状況は、血縁関係の濃くなる恐れが強まってきました。しかも天王寺のメスは繁殖を目的にひらかたパークで生まれたものをご厚意で借りてきているだけに、近親繁殖は十分に注意しなければならない問題です。

この解決策の1つとして、国際血統登録担当者のグレッドヒル氏を介し、昨年より北アメリカの3ヵ所の動物園にメスのシシオザルの譲渡を依頼中です。これがうまく実現すれば、日本にも新しい血の導入がはかれますし、嫁不足も解消されることでしょう。

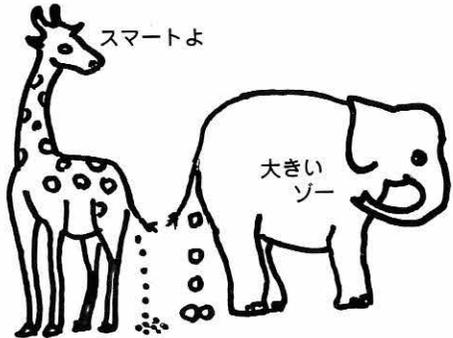
野生での危機をなんとか飼育下で補い、この地球上からシシオザルが消えないように努力していきたいものです。

(飼育課：宮下 実)

動物園なんでも相談室

1. キリンの体はとて大きいのにウンチはどうしてあんなに小さいのですか。

(宝塚市・秋吉楽子 小二)



キリンのエサは1頭につき、青草、ペレット、ジャガイモ、ニンジン、キャベツなど20kgを与えています。キリンやシカなどの草食獣では胃袋が4つに分かれていますので、1度たべたエサはもう一度口に吐き戻され、モグモグモグモグとさらに軟らかく、こまかくされて再びのみこまれ、これを何回もくりかえし、最後に腸で栄養分や水分が吸収されます。また腸のくびれも短かく細かいので、ウンチは長いひも状ではなくコロコロと小さなウンチになります。ゾウのウンチは大きくて1kgもありますが、キリンでは1回に100粒、1日に10回ほどウンチをしますが、その1粒はたったの3gほどです。

(飼育課：中川哲男)

2. 小鳥やキジの雄は何故あんなにきれいなのですか。

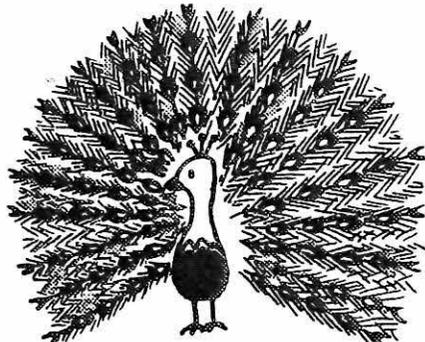
(住吉区・大眉公慈 小3)

小鳥やキジの雄がきれいなのは、いい雌を求めるときと天敵などをひきつけるためです。力の強い、栄養豊かなオスは体も大きく、美しい姿をしています。これはすばらしいお嫁さんを見つけるためと、そのお嫁さんが卵を生んだり、ヒナを育てていますと、キツネや、ヤマネコや、ヘビなどの天敵が、これをねらってやってきますが、雄が鳴きさけんだり、きれいな羽根をあげるなどして天敵の注意を自分に

引つけて、ヒナや雌を守ります。

このために小鳥やキジの雄がきれいなのです。

(飼育課：中川哲男)



3. マンドリルや大きなサルは、仲間が来たり、人が来たりすると、何故大きな口をあけてあくびをするのですか。

(豊中市・大谷清香 小4)

マンドリルなど大形のサルは、人のようにやたらと殺しあったり、けんかをしたりはしません。動物達はむやみやたらに闘争をさけるため、相手に対して、「どうじゃ、おまえのものより立派だろう!!」と、自分のもっている一番立派なものをみせて相手を納得させ、無駄な闘いをさけます。例えばマンドリルや、その他のヒヒ類にみられる犬歯のみせびらかしがそうです。

(飼育課：中川哲男)



オレの歯の方が立派だろ

第14回天王寺動物園サマースクールのお知らせ

夏休みの子供たちのために動物園で動物の観察や飼育係の仕事を見学し動物の勉強をします。対象は小学生(4・5・6年)のみです。次のつごうのよい組を1つえらんで下さい。

- 日時 第1組 7月22・23日
- 第2組 7月24・25日
- 第3組 7月26・27日

参加資格：小学校4・5・6年生、保護者の同意があつて動物園まで毎日通える者、定員は各組70名。

申し込み：6月30日までに、往復ハガキで往信ハガキに①サマースクール第〇組に参加希望、②住所・電

話番号、③氏名、年齢、性別、④学校名、学年、⑤保護者氏名を記入し、返信用ハガキのおもてに自分の住所・氏名を記入。ハガキは1通のみ記入。

申し込み先：〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 大阪市天王寺動物園

参加者決定：7月1日に抽選し、結果を連絡します。

参加経費：1人1,500円(テキスト・参加章・写真・修了証などの費用)

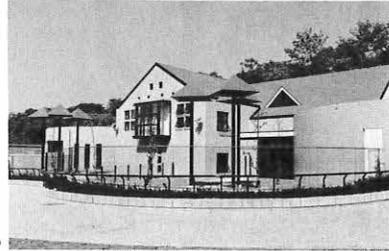
その他：保護者の参加はできません。送迎だけにして下さい。もし本人が参加できなくなったときは、連絡して下さい。

動物園ニュース

§ コアラ受入近づく

コアラ受入を前に、コアラ舎とユーカリの植栽状況の視察のため、オーストラリア政府を代表して在日オーストラリア大使館の関税部参事官のジェームズ・デルメニコ氏と関税部コーディネーターの工藤信吾氏が4月20日から22日までと5月2日に、またビクトリア動物学評議会の統括動物学者グライアムG. ジョージ氏が4月20日から27日まで来園されました。

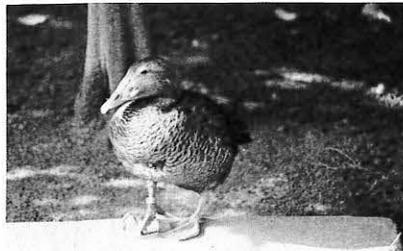
一方、昨年9月に着工したコアラ舎の建設は急ピッチで進み、5月2日に完成しました。総工費4億



完成したコアラ舎

6700万円で、鉄筋コンクリート造り2階建て、延床面積890㎡、1階部分は約140㎡の屋内展示室の他、4室の予備室、2室の隔離室、コアラの餌のユーカリを貯蔵する保冷庫などから成っています。2階には約50㎡の管理監視室があり、面積約440㎡の屋外展示場も備えています。

§ ホンケワタガモ来園



新着のホンケワタガモのメス

ホンケワタガモのメスが長野市茶臼山動物園のご好意で来園しました。ホンケワタガモは北極圏に生息する大型のカモで、ツンドラ地帯で繁殖し、冬期は常に海で生活します。大量の綿羽を敷きつめた巣を造ることで有名で北方の人はこの羽毛を利用することで知られています。

天王寺動物園ではバードケージのオープンに合わせて来園しましたが、まもなくメスが死亡し、オス2羽になっていました。

検疫終了後、現在オス、メスを小さなケージに収容していますが、折り合いもよく、ペアリングができればバードケージに放す予定です。

§ 出産動物あれこれ

いよいよ出産シーズンに入り、いろいろな動物が生まれています。

サル舎では4月4日にカニクイザルとブタオザルが生まれました。しかし、カニクイザルの赤ちゃんは

現在の飼育動物数

(平成元年4月30日現在)

哺乳類	12目	100種	431点
鳥類	20目	192種	642点
爬虫類	3目	37種	90点
合計	35目	329種	1,163点

生後6日目に、全身ずぶぬれで衰弱しているのが発見されました。体温が下がりほとんど仮死状態でしたが、保温してやることにより、元気を回復し親のもとに返すことができました。



また、4月15、16日 ブタオザルの赤ちゃんと続いてバーバリシブのメスの赤ちゃんが生まれました。

バードケージでは4月6、14日にアカハシハジロが、23日にアカアシゴモが人工ふ化しています。



アカハシハジロのヒナ

自然ふ化では今年もカナダガンが4月27日に7羽ふ化しました。小型ネコ舎では4月24日にハクビシンが5頭生まれました。今回は放飼場で出産したのでまもなくかわいい姿をご覧いただけるでしょう。

● お知らせ

動物のお話とスライドの会

6月18日(日) 世界のツル

7月16日(日) 野生のオランウータン

8月20日(日) コアラあれこれ

時間：午後1時～2時

場所：北園レクチャールーム

動物の絵画コンクール

「春の動物園まつり」の行事の一環として動物の絵画の募集を行なっています。応募要綱は下記のとおりで、入選作品は現在計画中の上海動物園との動物絵画の交換に使用する予定です。

募集期間 8月31日まで

応募資格 小・中・高校生

応募先 大阪市天王寺動物園

「動物の絵画コンクール」係

テレホンサービス実施中

催し物、トピックスなど魅力たっぷりの動物園の案内を24時間テレホンサービスで行っていますのでご利用ください。

電話番号 771-9999

* 休園日のお知らせ *

動物園の休園日は毎月第3日曜日(休日の場合は翌日)です。7月までの休園日は下記のとおりです。

6月19日(月)、7月16日(月)、8月21日(月)

開園時間は、午前9時30分から午後5時までで、午後4時に切符売り止めになります。

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修
B5変型判・オールカラー
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間はず？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

くらしかいかたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー・各定価580円

むしくらしかいかた

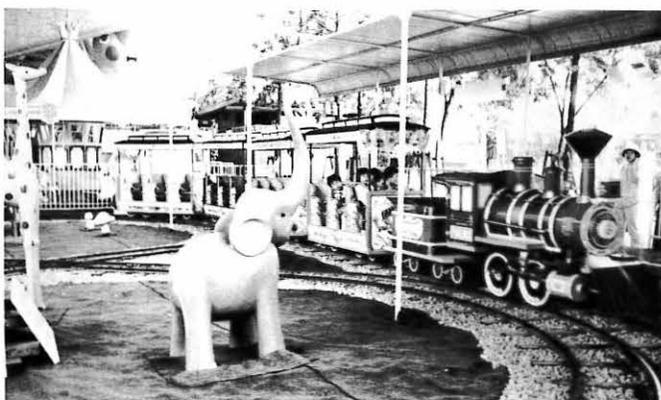
野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきものくらしかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

たのしいのりもの、が待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

いま、フィルムは 頭脳をもった。



高画質時代をリードする
はるかに美しく

フジカラー SUPER HR

かすの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031

平岩米吉著

絶賛三版

猫の歴史と奇話

(定価・2600円)
A5判・260頁
口絵挿画・113図

猫に関する古今東西の科学と文献を網羅し、しかも平易な文章で綴った猫の宝典。著者の三十余年にわたる収集研鑽の成果、ここに結実。

☆学術書でありながら、推理もののように愉しく読める猫の本
☆架空の伝説は別に、猫の珍しい実話400余を収載

主な目次

第一章 猫の歴史

欧州は古代エジプト、日本は宇多天皇から近世まで

第三章 猫の報恩談

蛇を咬んだり、金を運んだりする

第五章 猫の奇話(上)

長命、多産、三毛猫などの形態の奇話

第七章 猫の奇話(下)

マタタビを媚薬とする奇妙な習性など

第二章 猫股伝説

老猫化けてさまざまな怪異をなす

第四章 野性猫の存在

裏日本の山猫、離島の山猫、鬱陵島の猫の渡来など

第六章 猫の奇話(中)

長距離の帰家記録や鼠を育てるなど不思議な行動

第八章 益獣としての猫

あらゆる角度から猫の生態と効用を探究

発行 動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2
電話(03)717-1659・振替東京5-9800

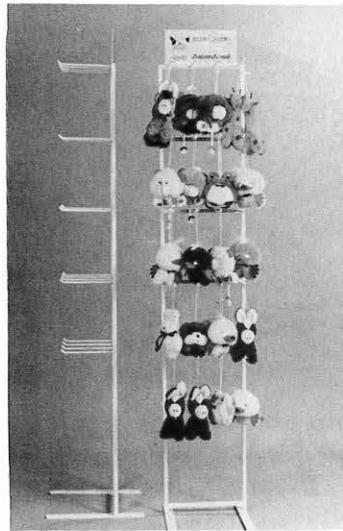
発売 株池田書店 東京都新宿区弁天町43番地
振替・東京4-165425

- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」
①巻・20分(10本常備)
- 対象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申込先/当協会まで、電話かハガキで
お申し込み下さい。



大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

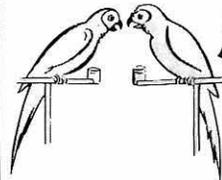


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

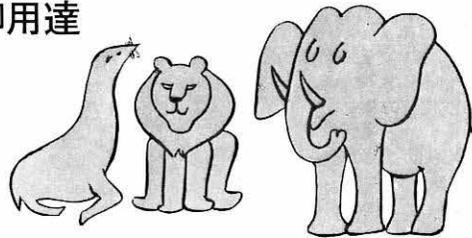
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06) 704-8580
FAX: (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

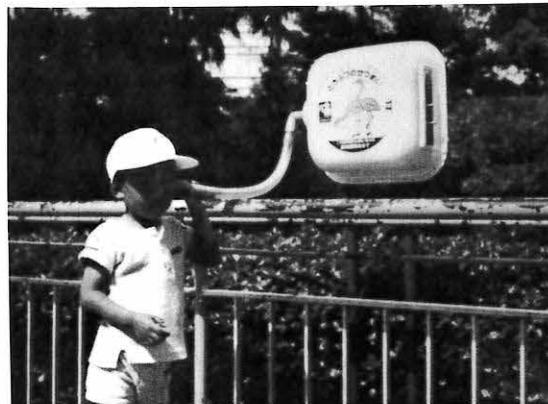


有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での

お食事、ご休憩は

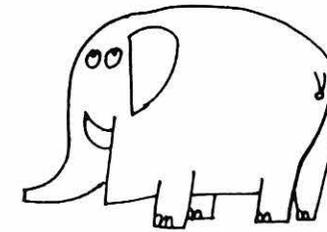
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎ (06) 771-0973



天王寺動物園内

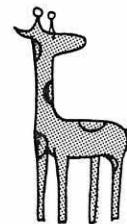


南園売店

大阪市天王寺区茶白山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内での写真は…

動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしく願い致します。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社

TEL 06-856-7444



唯ちゃんも、
とってもゼリーも、
ますます成長しました。



浅香 唯

フルーツゼリー
とっもゼリー



とっもオレンジ



とっもピーチ



とっも Strawberry



とっも Strawberry



とっも Strawberry



とっも Strawberry

野生動物をみんなで守ろう

WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”が新設されました。このぬいぐるみの売上げの一部はWWFJ(世界野生生物基金日本委員会)に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー新設

お申込み、お問合わせは——

社団法人 **大阪市天王寺動物園協会**
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 **ファミリア商事部**
TEL (078) 321-0345

●お電話でのお申込みは動物園協会まで。
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。



●WWF(WORLD WILDLIFE FUND)とは?
世界野生生物基金。世界中の危機に瀕している動物たちと、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 1989年6月10日発行(毎月10日発行) 第25巻 第6号 (通巻286号)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 橋本一郎

印刷所/株式会社 村松善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員

(伊東重朗 / 藤野勝吉 / 中山良三郎 / 樽本 勲 / 中川哲男 / 齊田 尚 / 宮下 実 / 長瀬健二郎 / 榎原安昭)
森本委利 / 大野尊信 / 野口秀高 / 早川 篤 / 赤松 建 / 中垣圭史 / 大川光雄 / 山下賢二 / 土谷正道)

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823